



# 東京教区災害対応チーム 災害情報・九州地震

## 九州 012

(表記の変更:「熊本地震」について、本紙面では九州教区での呼称にならない007号以降「九州地震」と記します)

### 【九州教区・九州地震被災者支援室より第八信】

～ 間もなく1年 (4月14日、16日)。

再び拠点を「熊本聖三一教会」に移し、活動体制を変え継続 ～

九州教区・九州地震被災者支援室からの情報を以下お伝えします。

「だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができますよ。

艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。」ロマ 8:35

### 支援活動～被災者を「孤立させない」ため～の取り組みについて

+主の平和がありますように

九州地震発生からまもなく11ヶ月となります。これまでの皆さまの篤い祈りと様々なご支援ご協力で心より感謝申し上げます。

#### ◆まもなく一周年。感謝します。

前震が発生した日4月14日と本震発生の日16日を迎えると、九州地震発生から丸一年となります。被災地では今でも震度3程度の余震が続いています。

顧みますと、九州教区の被災者支援活動は迅速な立ち上がりだったと思いますが、当初から常駐の活動責任者を配置できず、基本的には活動責任者3名の交代制により、その他のスタッフ、教区内外の多くのボランティアの協力を得て運営してきました。

10月には、熊本聖三一教会に置いていた拠点のボランティアセンターを、借り受けた住宅へと移し、それまでの週日「6日間体制」から毎週水曜から土曜までの「4日間体制」へと変更し、活動を継続してきました。

「大被害地区」(今も地震の大きな爪痕が残る地区)に繰り返し通っていると、素早く家を再建し、新しい一歩を踏み出した方々がいる一方で、未だに壊れた家や物の片付け、生活の場の確保など具体的課題を前にし、先が見えず茫然と立ち尽くすような状況にある方がおられることを目の当たりにします。そして時間の経過とともに解決に向かうというより、かえって物質的にも精神的にも行き詰まりを感じておられ、多種多様な支援の必要が出てきていることを感じます。

#### ◆拠点を再度熊本聖三一教会へ。「2日間の活動を毎月2回」実施

このような現実を前にしながら大変心苦しく感じますが、私たちが細々と続けてきたこの活動体制を、一周年を節目として見直すこととし、現体制での活動は4月1日をもって終了。今後は、拠点のボランティアセンターを再度熊本聖三一教会へ戻し、当面「2日間の活動を毎月2回」実施していくことといたしました。

基本的には、これまで出会ってきた方々のところへの巡回・訪問活動を中心とし、必要な作業等があれば調整し対応してまいりたいと考えています。

これまでと比べ、必要な作業等に即応できにくいことなどが考えられますが、地元・熊本聖三一教会との連携をさらに強め、私たちが掲げてきた、被災者を「孤立させない」ための取り組みを継続してまいりたいと思います。

### ◆4月5日(水)～8日(土)までボランティアセンター移転作業を実施。

「熊本聖三一ボランティアセンター」は、熊本市東区御領より、再度、熊本市中央区水前寺公園28-14 熊本聖三一教会 となります。連絡先はこれまでと変わらず、熊本聖三一教会 TEL/FAX 096-384-3202 です。

新しい体制での 初回は、4月21日(金)・22日(土)  
第2回は、5月2日(火)・3日(水・祝)を予定しています。  
宿泊は、熊本聖三一教会です。遠方の方は前泊も可能です。

### ◆少数ボランティア体制での活動です。

- ・ボランティアを受け入れますが、大人数の受け入れはできませんので、原則、一度に5名までといたします。九州教区のホームページにて活動スケジュールを予告いたします。まずは電話にて、現地コーディネーター(熊本聖三一教会牧師山崎貞司司祭 携帯電話 090-4489-3878)へご連絡ください。そしてこれまで同様にご登録(各教区事務所<sup>註</sup>を経由し九州教区事務所へFAX)をお願いいたします。 註) 東京教区FAX03-3433-8678
- ・活動内容の都合上、日程調整をお願いしたり、お断りする場合があります。
- ・活動の様子は、日本聖公会九州教区のホームページ内でご覧になれます。  
註) 申込み方法等：HP <http://www1.bbq.jp/d-kyushu/2016sien.html>  
註) FBフェイスブック <https://www.facebook.com/koritsusasenai>
- ・ご質問、またご不明な点はお問い合わせください。  
※活動の手配・調整の都合上、ボランティア登録は1週間前までにお願いします。

### ◆来る1周年を覚えて、共に祈りましょう。

今年は、前震の発生日4月14日は聖金曜日(受苦日)、また本震の発生日4月16日はちょうど復活日にあたり、一周年の記念日当日に、特別な礼拝やプログラム等を企画することはいたしませんでした。しかし199人もの貴い命が失われたこと(3月11日現在。関連死含む)、また多くの人々が、今尚困難を抱えながら過ごしておられることを覚えて、私たちがこれからますます支え合うことができるように心を合わせて祈りたいと思います。各教会また個人で、黙祷、また「九州地震被災者支援のため」の祈りをぜひお捧げいただければと思います。

これからもお祈りと、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

2017年 3月13日

九州教区主教 ルカ 武藤 謙一

九州教区・九州地震被災者支援室 室長 司祭 マルコ 柴本 孝夫